

コード No. 18983

**Anti-Rat
soluble α 2,6-Sialyltransferase (rST6Gal I -E41) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 μ g

はじめに : アルツハイマー病の患者の病理組織像を特徴づけているのは、老人斑と神経原繊維変化の2つであり、老人斑の形成が先行するため、これが初期病変であると考えられています。老人斑はアミロイド β ペプチド ($A\beta$) の蓄積により形成されることが知られています。 $A\beta$ ペプチドはアミロイド前駆体タンパク質 (APP) が2種類のタンパク質分解酵素によって切断されて生じます。最初の切断を行なうのが β セクレターゼ (BACE1)であり、2番目の切断を行なうのが γ セクレターゼです。これらの阻害剤はより安全なアルツハイマー治療薬になりうると考えられています。
近年、糖鎖の生合成に関わる糖転移酵素 (α 2,6-Sialyltransferase, α 2,6 シアル酸転移酵素) も BACE1 による切断を受けることが明らかにされました。同時に切断部位が同定され、結果としてラットでは切断型 α 2,6 シアル酸転移酵素 (E41 Form) を産生することが明らかにされました。
本製品はラット α 2,6 シアル酸転移酵素 (E41 Form) を検出可能とした精製抗体です。

免疫抗原 : ラット α 2,6 シアル酸転移酵素 (E41 Form)部分ペプチド

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

免疫動物 : ウサギ

包装形態 : 1% BSA, 0.05% NaN_3 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加

保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 $^{\circ}\text{C}$ 保存 5 年間安定
: 溶解後 -20 $^{\circ}\text{C}$ 保存 2 年間安定

使用目的及び使用方法 : ウェスタン・ブロッティング 1~5 μ g/mL にて使用可能

特異性 : ラット α 2,6 シアル酸転移酵素 (E41 Form)に反応
ヒト、マウス α 2,6 シアル酸転移酵素とは交差しません

参考文献 : 1. 北爪 しのぶ, 西道 隆臣, 橋本 康弘 アルツハイマー病 β セクレターゼの新しい基質溶液の発見: β セクレターゼによる糖転移酵素の切断とその意義: 生化学 第74巻 第9号 1180-1183 2002年9月
2. Kitazume-Kawaguchi S, Dohmae N, Takio K, Tsuji S, Colley KJ. The relationship between ST6Gal I Golgi retention and its cleavage-secretion. *Glycobiology*. 1999 Dec;9 (12):1397-406.
3. Kitazume S, Tachida Y, Oka R, Shirotani K, Saido TC, Hashimoto Y. Alzheimer's beta-secretase, beta-site amyloid precursor protein-cleaving enzyme, is responsible for cleavage secretion of a Golgi-resident sialyltransferase. *Proc Natl Acad Sci USA*. 2001 Nov 20; 98 (24): 13554-9.
4. Kitazume S, Tachida Y, Oka R, Kotani N, Ogawa K, Suzuki M, Dohmae N, Takio K, Saido TC, Hashimoto Y. Characterization of alpha 2,6-sialyltransferase cleavage by Alzheimer's beta -secretase (BACE1). *J Biol Chem*. 2003 Apr 25; 278 (17): 14865-71.